

ふるさと創生基金事業の提案・アイデア

提案事業名	内容	提案への対応
地域活性化チャレンジ事業	<p>以下のような活動をしたい団体に対し、補助を行う。</p> <p>①子どもたちが安心して遊べる環境の整備</p> <p>②子育て世代が気軽に参加できる体験事業やイベントの実施</p> <p>③多世代が集える場所の確保と活動</p> <p>④動物と気軽にふれあえる環境整備</p>	—
地域の宝マップ	地域の宝（人・物・場所）を整備し、継承していく。	事務局案①
震災メモリアルの保存	<p>小高地区の集団移転の原因となった自然ダム跡を保存する。</p> <p>（ぶな・桜・やまぼうしなどの植林を行う）</p>	—
トレッキングコースマップ整備事業	平成 22 年度に行った里山再生事業の実施箇所を含め、トレッキングコースのルートを考え、マップ化する。	事務局案①
川めぐり遺跡めぐり	川口橋（魚野川）、西倉橋（信濃川）、牛ヶ島橋（2つの川の合流）をめぐるコースを、荒屋遺跡・西倉遺跡をセットとしてウォーキングコースを設定する。	事務局案①
昔話・伝説等保存事業	西倉地蔵のような昔話や伝説等を聞き取り、後世に残していく。その後、マップ作成、雑誌作成、ガイドコース作成を実施する。	事務局案①

提案事業名	内容	提案への対応
ボランティアガイド育成事業	<p>地域内の各名所・史跡などをガイドする人材を育成する。</p> <p>地域の人たちが川口地域を知るとともに自分たちで川口地域を発信していく仕組みを作る。</p>	事務局案①
魚野川を活用したイベント	川口ヤナの河川公園内ではなく、本流の浅瀬を使ったあゆのつかみ取りを行う。	事務局案②
散策道整備事業	<p>自然の里山道をもっと整備し、散策コースを設定する。</p> <p>コース上には各地の史跡を入れる。</p>	—
震災活用保存事業	震央にある水田を子どもたちの学校田として活用し、後世に中越地震について語り継いでいく。	—
「匠の里」事業	<p>立派な古民家が現在あまり活用されていないので、伝統工芸や郷土料理の体験ができる施設として活用したらどうか。</p> <p>指導者は地域の高齢者が行ってもらおう。</p>	事務局案①
船下り事業	かつて行っていた船下り事業を復活させる。ヤナ場とセットの企画を作ったらどうか。	事務局案②
荒屋遺跡活用事業	出土品の展示、旧石器時代の住居を再現し、集客を図る。	—

提案事業名	内容	提案への対応
ヤナ場周辺の施設整備	河川公園の再整備（地震により荒れた箇所 ^の 修繕、池などを整備し、子どもの遊び場にする） 大型バスが駐車できる駐車場の整備。	事務局案②
魚野川河床の整備	信濃川の河床が下がったため、魚野川の河床も下がり、岩盤が露出し、玉石等がなくなってしまい、鮎やカジカがすめなくなっているところが多くなっているため、これを復元する。	—

平成23年度長岡市ふるさと創生基金事業（案）について

事業案① まちの案内人育成事業

事業計画書

事業名	まちの案内人育成事業						
事業の目的	<p>〔目的〕</p> <p>川口地域にある自然、風景、観光施設、史跡等は、過去に宝物マップを作成し、おおむね拾い出しはされているが、川口地域を訪れた観光客等への紹介や案内は行われていなかった。また中越地震では、多くの住民が被災しているが、その体験を伝承する仕組みができていない。このため、本事業では川口地域の様々な資源や地震体験などを説明・案内する人材を育成する事業を実施する。</p> <p>また、各資源や体験を分かりやすく説明・案内するためのマップを作成する。</p> <p>〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内人育成講座の実施 ・案内人バンクの設置 ・マップの作成 						
事業の実施による効果	<p>○案内人を育成することにより、川口地域を歩きながら紹介する体験型観光が可能となり、交流人口の増加が期待できる。</p> <p>○川口地域を案内する人材が増えることにより、地域を知る機会が増え、郷土への愛着心の醸成が期待できる。</p>						
事業実施のスケジュール	<p>【スケジュール】</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成22年12月</td> <td style="width: 50%;">実行委員会の設置、実施団体の募集</td> </tr> <tr> <td>平成23年 1～2月</td> <td>実施内容の決定</td> </tr> <tr> <td>4～12月</td> <td>事業実施</td> </tr> </table>	平成22年12月	実行委員会の設置、実施団体の募集	平成23年 1～2月	実施内容の決定	4～12月	事業実施
平成22年12月	実行委員会の設置、実施団体の募集						
平成23年 1～2月	実施内容の決定						
4～12月	事業実施						
備考							

事業案② 魚野川親水活動促進事業

事業計画書

事業名	魚野川親水活動促進事業						
事業の目的	<p>〔目的〕 川はかつて「あぶない所」というイメージが定着し、川口地域の住民もあまり近づかない存在だった。しかし、近年川をもっと身近に感じられるものにしようと、河川公園の整備や、川を使ったイベント等が行われるようになった。今後さらに川を身近に感じることができるよう、河川公園の整備やイベントの実施など住民主体の活動を行う。</p> <p>〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民主体の河川公園の整備 河川公園の草刈・清掃 ふな・鯉などの在来種の放流 ・川で行うイベント（リバーフェスの実施） 						
事業の実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> ○川のまち「かわぐち」を広くPRできる。 ○川口地域の住民の川への愛着心の醸成、河川環境保護への理解。 						
事業実施のスケジュール	<p>【スケジュール】</p> <table border="0"> <tr> <td>平成22年12月</td> <td>実行委員会の設置、実施団体の募集</td> </tr> <tr> <td>平成23年 1～2月</td> <td>実施内容の決定</td> </tr> <tr> <td>6～10月</td> <td>事業実施</td> </tr> </table>	平成22年12月	実行委員会の設置、実施団体の募集	平成23年 1～2月	実施内容の決定	6～10月	事業実施
平成22年12月	実行委員会の設置、実施団体の募集						
平成23年 1～2月	実施内容の決定						
6～10月	事業実施						
備考							

事業案③ 集落看板設置事業

事業計画書

事業名	集落看板設置事業						
事業の目的	<p>〔目的〕</p> <p>川口地域は信濃川や魚野川沿いの平野部と木沢や田麦山などの山間部に分かれており、そこに点在する地区は、独自の風土・風習の中で生活している。このため、地区住民はもちろん、来訪者が一目でわかる地区の特徴と集落名を記載した案内看板を整備し、川口地域の各地区の魅力を発信する。</p> <p>〔内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区入口への案内看板の設置 						
事業の実施による効果	<ul style="list-style-type: none"> ○川口地域の各地区を広くPRできる。 ○川口地域の住民の郷土への愛着心の醸成。 						
事業実施のスケジュール	<p>【スケジュール】</p> <table border="0"> <tr> <td>平成22年12月</td> <td>実行委員会の設置、実施団体の募集</td> </tr> <tr> <td>平成23年 1～2月</td> <td>実施内容の決定</td> </tr> <tr> <td>6～10月</td> <td>事業実施</td> </tr> </table>	平成22年12月	実行委員会の設置、実施団体の募集	平成23年 1～2月	実施内容の決定	6～10月	事業実施
平成22年12月	実行委員会の設置、実施団体の募集						
平成23年 1～2月	実施内容の決定						
6～10月	事業実施						
備考							